

2023年6月21日

杉原千畝ウクライナ難民募金中間報告書

募金に支援・協力された皆さまへ

5000名以上の皆様、「杉原千畝ウクライナ難民募金」へのご支援ありがとうございました。街頭募金に協力してくれた学生や生徒の皆様にも、心から感謝いたします。下記の通り、中間報告をさせていただきます。今後ともリトアニアに避難してきたウクライナ避難民へのご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

杉原千畝ウクライナ難民募金 代表 稲葉千晴

記

- 募金日時 : 2022年4月23日(土)から2023年5月17日(火)まで
- 募金形態 : 街頭募金12回(募金者数約5千人)
募金箱の設置(名城大学、下呂温泉陸館、犬山市の大衆割烹せと路)
銀行口座への振り込み
- 募金実施場所 : ナゴヤドーム前大幸南南北ペDESTリアンデッキ(名古屋市東区)
名古屋駅西口、名城大学キャンパス、豊川稲荷
- 街頭募金参加者: 名城大学学生と豊川高校生を中心にのべ約200名
- 募金総額(2023年5月23日現在): 6,645,765円
- リトアニアのシャウレイ広域市への寄付額: 4,943,050円 2022年6月14日ユーロで送金
35,000ユーロ(2022年6月14日の為替レートと送金手数料を含む)
- 募金使途: 当初はリトアニアに流入した難民6万人の中でも、シャウレイ広域市に避難する難民4000人(ほとんどが母親と子供)の生活支援に充てる予定だった。ところが、2022年6月24日、募金代表の稲葉がシャウレイ広域市の難民住宅で難民たちと面会しすると、彼女たちはすでに衣食住という最低限度の緊急支援は受けており、定住に向けた支援を受けて生活していた。しかしリトアニア語を習得していないため、現地で適当な仕事を得られずに苦労している、語学や就職支援の講座を受けて早く職を手にしたいと要望された。2022年6月14日に本募金から、語学向上や就職支援用の講座開設を目的としてシャウレイ広域市に35000ユーロが寄付された。その成果として市からは次の報告を受けている。
- 「1080人の難民に対して2022年7月から11月にかけて、市の3つの難

民支援施設で、13 講座（1 回の講義 2 時間で 16 回）が実施された。その結果 248 名が 2022 年末までに新たな仕事につくことができた。」

募金残額（2023 年 6 月 20 日）：1,702,715 円

今後の募金使途：すでに難民たちのリトアニア滞在も 1 年を超え、語学能力も向上した。ただしまだ戦争は終わらず、難民の帰国困難な状況が現在も続いている。今後も募金は続け、難民への支援に関しては、募金代表が 2023 年 8 月にリトアニアを訪れる際に、再度難民たちの意見を聞き、寄付金の送金先を検討する。23 年 10 月までには、今後の方針を決めて報告したい。

問い合わせ先：名城大学都市情報学部 稲葉千晴研究室

e-mail: chiuneguide@yahoo.co.jp <https://www.meijo-u.ac.jp/news/>

以上